



# 十文字西地区

August 

## 交流センター報

十文字西地区交流センター  
センター長 近 孝夫



西地区の皆様お元気ですか。

残暑厳しい中、地域の皆様そして夏休み期間中の児童生徒の皆様如何お過ごしでしょうか？。やはりこの夏はパリ2024オリンピック・パラリンピック競技を観戦しながら一喜一憂し、加えて、夏の全国高校野球大会（甲子園）が開催されています。

しかし、忘れてはいけないのは7月下旬梅雨前線による記録的な大雨で県内全地域に浸水被害が確認されました。その影響で田畑や家屋の被害は勿論ですが、死亡者が出るという最悪の悲劇を耳にしました。（残念です）

次に確認ですが、西地区交流センターは地元住民で構成している「運営協議会」が中心になり、地区会議担当職員の協力を得ながら、「植田（14自治会）・睦合（13自治会）」の自治会長と連携し「地域づくり事業」や地域の特色を活かした「生涯学習事業」を地域住民の期待に応えられるように計画します。今後とも御参加・御協力を宜しくお願いします。

さて、話は変わりますが、和田秀樹氏（精神科医）の著書「80歳の超え方」の中に、「健康上の問題が日常生活に影響がありますが、それで何か問題がありますか？」という姿勢で自分らしく生活することが肝要と書かれており、「そのためには、よく食べ、動いて笑う。おおらかに生きていってほしい・・・」とあります。まさにその通りかと。今残暑とは言いながら、正に夏本番中。皆様どうか恙無い日々をお過ごしください。



【 処 暑 】（ 8月23日～9月6日頃 ）

二十四節気が立秋から処暑へと変わります。「処」は落ち着くという意味で、厳しい残暑もいよいよ和らぎ、朝夕は涼しさも感じられる頃。心地よい虫の声にも秋の気配が漂います。

### ～ 偉人の言葉に学ぼう ～

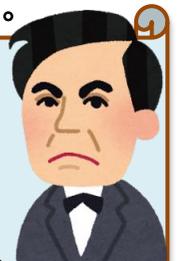


・ 木戸孝允 広ク会議ヲ興シ 万機公論ニ決スベシ

「広く会議を開いて、公開された議論によって政治をすべし」

・ 横井小楠 書巻は何ぞ須（すべから）く句解の為にある

「書巻に価値があるものではない。書いた人の心を読み取ることが肝要である」



◆「幕末維新365言葉の知恵」より

十文字西地区交流センター運営協議会では各活動が行われました

6/25 安心安全班会議

7/9 役員会



7/10 文化教養班事業「ふるさと歴史探訪」開催



開催予定事業

開催日が近づきましたら、全戸配布のチラシにて詳細をお知らせします。皆様の御参加お待ちしております。

9月1日(日) 安心安全教室 ①

10月27日(日) 十文字西地区交流センターまつり



11月17日(日) 安心安全教室 ②

令和7年2月8日(土) どんど焼き

交流館から

佐藤政子押し花・クラフト教室作品展 開催中《9月末まで》

十文字西地区交流センター交流館では、展示室を活用し、地域の皆様の創作を紹介する場として、定期的に作品展を開催中です。現在、佐藤政子押し花・クラフト教室の皆様による作品を展示しております。

「十文字和紙」や交流館利用団体による作品、睦合地区出身 佐藤正氏が研究された郷土資料など、常設展示と共に御覧ください。

【お問合せ先】

十文字西地区交流センター 担当 佐々木  
☎(44)-3100 [平日8時半~16時半]

